

序

目に青葉，山ほととぎす……とうたわれる季節に，本報告，清水建設研究所報第11号をお届けしたかったのですが，ついつい夏も盛りになり，セメントにも異状の起きやすい時になってしまいました。

異状といえば，今年世界的にも異常が多く，ベトナムに平和の徴が見えなかったかと思うと，米国では大統領候補が暗殺されるようなことが起っております。そしてわが国でも，十勝沖地震という大異常が起っています。

継続時間の長い地震，そして継続時間と関係のありそうな被害の状況，これは去るアンカレッジの地震以来の問題のようです。殊に今回の鉄筋コンクリート構造物の被害の調査の進展とともに，また新しく取組まねばならない問題もいくつか生れてくることでしょう。

私どももなお一層研鑽を重ねて，被害に追越されないようにしてゆきたいと思えます。

1968年7月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫